



●体高のある30センチオーバー



●良型そろいで大満足



▲ポイントは起伏のある根周りが中心。仕掛けが着底したらずくに50センチほど底を切って根掛かりを防ごう



●カサゴも交じり

●小さくても20センチ級



●マハタも上がった



●鈴なりのメバルにベテランも夢中になる



●オキメバルは明るくなつてからも多点掛けて食つてきた

●釣り場は大洗沖の水深20～28メートル前後

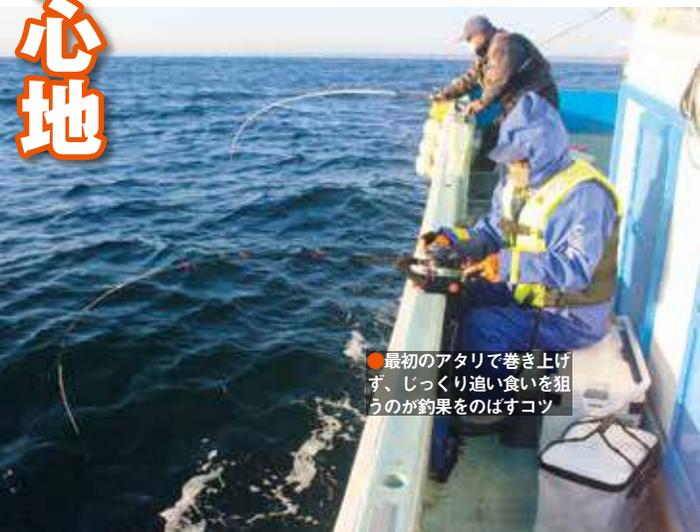
# 尺超え交じりで絶好調 大洗沖のメバル五目は夢心地

茨城県大洗港出船  
撮影◎鈴木良和

●早朝はメバルが多点掛けて連発。トップは36尾を釣った右トモの常連さん



●メバルは25センチ前後がアベレージ



●最初のアタリで巻き上げず、じっくり追い食いを狙うのが釣果をのばすコツ

**NOTE**  
**大洗沖のメバル五目仕掛け**

大洗沖のメバル五目は胴つき5本バリ仕掛けにオモリは80号を使用。エサはサバの切り身が支給されるほか、持参になるが冷凍カタチイワシを下バりに付けるとソイやマハタなどのゲストが食ってくる確率が高まる。



洗沖のメバル五目。皆さんにもぜひ尺メバルの多点掛けを堪能していただきたい。  
(詳細は54ページ参照)

大洗沖のメバル五目はスケールがカイ。メインはいわゆるメバルとオキメバル(ウスメバル)の2種。どちらも型がよく、体高のある立派な尺メバルが当たり前のように上がり、そこにカサゴやソイ、マハタといった根魚たちが花を添える。

3月中旬の取材日は、食い気のある群れに当たると5本バリの胴つき仕掛けでパーフェクトを達成する人が続出。船中全員が夢のような時間を過ごした。船長によると、当地でこれくらいの釣果が出るのは当たり前で、秋口までロングランで楽しめるとのこと。根魚ファンでなくてもウズスズしてくる大



◎茨城県大洗港・第一東海丸 北條 晃船長